

生活指導部だより第3号

令和7年10月31日(金)発行
東京都立村山特別支援学校
校長 阿部 智子
主幹教諭 屋代 里奈

今号では、7月22日(火)に実施した防犯・防災研修会(教職員対象)、9月・10月避難訓練、部活動について御紹介します。

【防犯研修会(さすまた実技講習)】

教職員が児童・生徒の安全を守るための知識・技能を身に付け、迅速に対応できるようにすることを目的として、不審者侵入対応を想定した研修会を行いました。東大和警察署の生活安全課の方に御指導いただき、さすまたを使った具体的な対処方法について学びました。



【防災研修会(「東京マイ・タイムライン」セミナー)】

風水害(台風、豪雨など)の基礎知識や「東京マイ・タイムライン」を活用した避難計画の作成方法などについて、専門講師から学ぶセミナーを実施しました。武蔵村山市の浸水・土砂災害ハザードマップを確認し、風水害のリスクについて知るとともに、マイ・タイムラインの作成・活用方法について学びました。また、風水害の脅威を疑似体験できるVR体験を行い、土砂災害などの被災体験や、架空のハザードマップを使った緊急避難行動を体験することができました。



【9月・10月避難訓練(報告)】

○9月避難訓練(豪雨・強風)

9月9日(火)に、豪雨・強風を想定した避難訓練を全校で実施しました。台風等により強風が発生し、飛来物等で窓ガラスが破損することを想定した避難行動を取りました。カーテンを閉めて窓ガラスの飛散をできるだけ防ぐこと、窓ガラスから離れた廊下側に避難して低い姿勢を保つことなど、児童・生徒は身を守る大切さについて学習しました。

○10月避難訓練(地震)

10月16日(木)に、震度5弱を想定した避難訓練を全校で実施しました。3階エリアからの避難経路は、屋外のスロープを通してスクールバスターミナルに避難することになっていますが、当日は雨天のため、雨天用の避難経路である屋内のスロープを通して避難しました。放送をよく聞き、教職員の指示に従い、落ち着いて避難することができました。

おさない かけない しべらない もどらない ながない



【部活動(パラスポーツ部)】

本校の部活動は、児童・生徒が自主的に活動し目標に向かって努力する姿勢を育てること、興味・関心を育て卒業後も続けられる余暇活動の基盤を作ること、技術・体力・表現力等の向上を図り集団参加の態度を養うことをねらいとし、陸上競技、ボッチャ、ハンドサッカーの大会参加を目指して、放課後や土曜日を中心に活動を行っています。対象となる生徒は、中学部と高等部の生徒で、陸上・ボッチャ部門はB・Cグループ、ハンドサッカー部門は今年度からAグループの生徒も対象とし、現在、13名の部員で活動しています。

これまで、東京都障害者スポーツ大会、ボッチャCIOカップ、全国ボッチャ選抜甲子園決勝大会、CACカップ学生ボッチャ交流戦に参加し、各大会では素晴らしい結果を残し、日頃の練習の成果を発揮することができました。また、10月からは、ハンドサッカー部門の活動がスタートしました。9月に新規部員を募集し、現在、体験入部を進めているところです。2月14日の東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会に向けて、新しいメンバーで活動を行っていきます。引き続き、保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

